2018年7月27日

建交労神奈川県南支部

2018年夏季闘争

推進ニュース㊱通算75

発行責任者　佐藤　章

経営側・使用者委員不在で開催した異例の三昭運輸分会県労委第3回調査に28人結集

　三昭運輸分会が不当労働行為救済を申し立てている県労働員会の第3回調査が7月 25 日 18:00から開催され、当該組合員全員と代理人を含む28名の支援者が県労委に結集しました。

　元々この日の調査期日については、経営側が何の根拠も示さず日程調整の合意を頑なに拒んだため労使別々の日程で調査を行うという県労委初の異例な事態であったうえに、使用者委員が急な入院で不在という異例づくめで行われました。

県労委に結集した三昭運輸分会と支援者

　さらに調査では労働側の参加人数を制限する意向が公益委員から示されましたが、これには原則的な対応で制限をさせずに調査に臨むことができました。しかし、この状況下で行われた調査は労働側代理人による新たな書面の主旨説明と次回期日では会社側の恣意的な意向を認めないよう求めるのみで打ち切られました。

全労連第29回定期大会に代議員として出席！大会議長の一人には建交労の鈴木書記次長

　全労連は7月 26 日～28 日にかけて第 29 回定期大会を千代田区平河町の砂防会館別館で開催しています。建交労の代議員は８名で、そのうちの１名枠は神奈川県本部から選出され、大会初日は神奈川県南支部の赤羽特別執行委員が代議員として出席しました（２日目は高橋県本部書記長、最終日は伊藤県本部委員長)。

議長に選ばれた鈴木書記次長（手前）

　大会は全労連結成30周年を来年に控え今後２年間の運動方針と新役員体制を確立します。大会スローガンには今日の情勢を攻勢的に切り拓く①ストップ安倍政権！憲法を守りいかそう　②８時間働いて普通に暮らせる社会の実現を！　③すべての労働者を視野に組織と要求を実現させ、未来を切り開こう！の３本を掲げ、名誉ある大会議長の一人には建交労中央本部から鈴木正明書記次長が選出されました。

味の素株式会社
代表取締役･取締役社長･最高経営責任者
西井　孝明　様

味の素物流株式会社
代表取締役社長
田中　宏幸　様

２０１８年　　月　　日

畠野由美子さんの運転手への復職を求める署名

味の素物流株式会社（前関東エース物流(株)）のトラック運転手として約７年間勤務してきた畠野由美子さんは、事故を起こしたことを理由に昨年（2017 年）12 月に運転手の仕事を降ろされ、それまでまったく経験のない事務職に移されました。

その結果、畠野さんの月額収入は約６万円も減少して生活が困窮しているとともに、元々はトラック運転手を希望して採用された畠野さんが、慣れない事務職を約半年間も続けるなかでストレスが溜まり精神的にも追い詰められてきています。畠野さんは、こうした状況から開放されるために一日も早く運転業務に戻りたいと願っています。

会社が畠野さんをトラック運転手から下ろした理由とする「油漏れ事故」の背景には、昼食休憩も取れない過酷な業務を強いられたことによる可能性が高く、また、帰宅途中の交通事故は畠野さんの不注意が原因とは言え、法的な処罰もなく会社に損害はありませんでした。

それまでの畠野さんは、関東エースのトラック運転手として何ら問題もなく業務を遂行してきた真面目な従業員であり、今後もトラック運転手として会社に貢献できる人材です。

私たちは、その畠野さんを一日も早くトラック運転手に復職させることを強く求めます。

わたくしは上記の目的に賛同して署名します。

氏　　名	住　　　所	サイン

取り扱い団体

全日本建設交運一般労働組合（建交労）　神奈川県南支部
〒169－0073　川崎市川崎区砂子２－８－１　シャンボール川崎砂子 706 号

※この署名は、この目的以外では使用いたしません。